

◆攻撃方法

優先行使度	部位	名称	範囲	ダメージ
6	獅子の頭	ラウド	任意の高度全て	人間性-2
その巨体により轟く咆哮はただの音にあらず。ハンターのコアに直接響く強烈なノイズなのだ。その衝撃は、ハンターをして頭が割れるほど。この攻撃を受けたハンターは次のラウンド、マテリアルをコストにした攻撃スキルを使用できない。				
1	任意の頭	ネガデストラクション	残っている「頭」と付く部位の数の、任意のエリア	2
キマイラ型とは混じり合い連鎖する破滅である。これは幾多の頭部から放たれる止む事なき死の悲鳴に他ならない。この攻撃はいずれかの「頭」と付く部位が残っている限り、効果が発揮される。				
3	山羊の頭	デスエレメント	全ての地上	2
山羊の頭が咆哮を上げ、作りあげた世界は混沌の巷。死と毒で汚染された世界は生物の存在を拒絶する。この攻撃が命中したハンターは次のラウンド、ダメージを回復できない。				
2	任意の羽	バッドスラスト	高度1または2の任意のエリア	3
大翼のはためきは大気を穢し、突風と共に恐慌を撒き散らす。汚染された風は堪えがたい嘔吐感と痛みをハンターに与えるだろう。この攻撃を受けたハンターが、次に行う攻撃に使用するダイス数-1。				
4	任意の脚	デモンズチャージ	任意のエリアと隣接した全てのエリア	2
その悪魔の如き巨体を君は見たか？ その突進を、果たして『人間』がそれを止められようか。苛烈なる暴圧に、全ては薙ぎ払われる。この攻撃のダメージは軽減できない。				
5	蛇の頭	イーヴィルアイ	高度1全て	1
怪しく明滅する蛇眼は、恐怖を刻む。その双眸に睨まれたなら、ハンターといえども動揺を留め置くことはできない。この攻撃が命中したハンターは次のラウンド、空中に移動できない。				

□運用指針

キマイラ型の真価はその高い戦闘能力だけではなく、不毛の荒野やヘドロに塗れた沼地といった、生物が生存不可能なゾーンを不規則に作り出すリクラフトにある。ベースにキマイラ型が現れるということは、人類の生存圏の縮小を意味するのだ。R I A C Tはその兆候を確認し次第、ハンターにキマイラ型の搜索と討伐を命じることだろう。防衛戦に高いリスクがある以上、ハンターは自ら討って出なければならない。

取得Exp

PC一人につき16点

◆耐久力 2人/3人/4人

部位	外殻	コア
山羊の頭	45/65/80(C)	40/60/80(C,S)
獅子の頭	45/65/85(M)	135/215/295(M)
羽×2	50/75/100(G)	40/60/80
獅子の前脚×2	80/120/160(G)	40/60/80
山羊の後脚×2	40/60/80(G)	60/90/120
蛇の頭	100/150/200(露、S)	

◆牽制攻撃

名称	範囲	ダメージ
テリファイド	任意の高度全て	1
ただ、迫りくること自体が恐怖。キマイラとは、“畏怖”の最も複雑な象形である。その姿を直視すれば、ハンターさえ怖気を震う。この攻撃を受けたハンターが、次に行う攻撃に使用するダイス数-1。		
ランダムパニック	高度1全て	2
世界は一変する。汚染された大地から吹きあがるのは不可逆な汚損だ。拭い去れぬ汚れは見る間もなく浸食を始める。この攻撃を受けたハンターのAPを半分にする。		